

なるほどガッテン！膝痛Q&A(31)

Q39 離断性骨軟骨炎と言われたのですがどんな病気ですか。

A39 離断性骨軟骨炎とは主に成長期のスポーツ選手にみられ、繰り返されるストレスや外傷により、関節軟骨の下の骨（軟骨下骨）に血流障害が起きて軟骨下骨が壊死する病気です。進行すると関節軟骨が骨と一緒にはがれてしまい、関節に重大な障害を起こしてしまいます。膝関節に多くみられますが、肘（野球肘の一部）や足関節などにもみられます。膝関節では大腿骨の内側に85%、外側に15%の頻度で生じ、まれに膝蓋骨にも起こります。性別では約2対1で男性に多く、10歳代が好発年齢です。

症状は初期では運動後の膝の不快感や鈍痛ぐらいですが、進行すると疼痛が強くなり、膝の引っかかり感が出現するようになります。骨軟骨片が遊離してしまい関節に挟まると膝がロックして動かなくなることもあります（ロッキング）。

診断は進行するとレントゲン撮影でもわかりますが、初期には通常のレントゲン撮影では写りこなく、MRIにより判明します。発育期では安静や免荷などで自然治癒することが多く、早期診断が大切です。

新患・予約外の患者さんの午後後の受付時間を18時までとさせていただきます。
 ですのでご了承ください。



三田市中央町9-36

TEL.079-564-0300

<http://www.fukushima-clinic.com>



Fukushima

整形外科 ふくしまクリニック

診療科目

整形外科
 リハビリテーション科
 リウマチ科
 ペインクリニック（痛みの治療）

【休診日】土曜日の午後診、水・日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00~12:00	●	●	/	●	●	●
午後診 15:00~18:30	●	●	/	●	●	/

新患・予約外の午後後の受付時間：18時まで

